

G-CITY SUMMIT 2026

登壇者紹介

東京藝術大学

学長 日比野 克彦 氏

【略歴】

- ・東京藝術大学に在学していた 80年代前半より作家活動を開始。
社会メディアとアート活動を融合する表現領域の拡大に大きな注目が集まる。
その後はシドニー・ビエンナーレ、ヴェネチア・ビエンナーレにも参加するなど、
国内外で個展・グループ展、領域を横断する多彩な活動を展開。
また地域の場の特性を生かしたワークショップ、アートプロジェクトを継続的に
発信。
- ・現在、岐阜県美術館、熊本市現代美術館にて館長、母校である東京藝術大学にて
1995年から教育研究活動、2022年から学長を務め、芸術未来研究場を立ち上げ、
現代に於けるアートの更なる可能性を追求し、企業、自治体との連携なども積極的
に行い、「アートは生きる力」を研究、実践し続けている。

